

## 第5回野津原圏域地域連携検討会 報告書

1 日 時 令和2年11月19日(木) 18:30~19:30

2 参加方法 Zoom ミーティング

3 内 容 ディスカッション

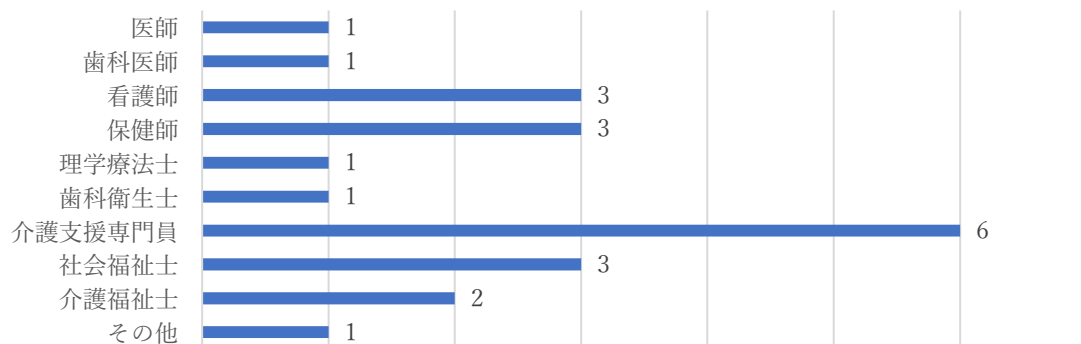
野津原圏域の医療・介護連携について

「新型コロナウイルス感染拡大予防するためにすべきこと

～医療・介護事業所それぞれの対応と連携～」

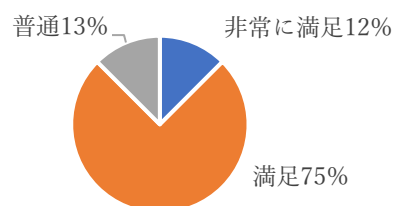
### 4 参加者数(22名)の内訳

職業別参加人数



### 5 アンケート集計結果(回答者8名)

問1.本日の地域連携検討会参加の満足度は、いかがでしたか。



- ・普段から関わりのある事業所の皆様とリモートではあったがディスカッションが出来て良かったと思いました。(介護支援専門員)
- ・川本さんの司会はとても nice です。(医師)
- ・野津原地域包括支援センター川本さんの進行は分かりやすかったです。(看護師)
- ・他の事業所の新型コロナウイルス対策を知ることが出来、今後の自分達の対応を考えることが出来た。(介護支援専門員)
- ・いろんな職種の方々の意見が聞けてとても良い体験をさせて頂きました。ありがとうございました。(介護支援専門員)

## 問2.グループワークについて

- ・いろいろな立場の方の意見を聞いて参考になりました。今後に活かしたいですね。(医師)
- ・Zoomでのグループワークはできませんでしたが、職種での意見交換が出来ました。(看護師)
- ・意見をまとめてわかり易く伝える事が自分にはなかなか出来ないので人の意見を聞くことで良い勉強になりました。(介護支援専門員)

## 問3.野津原圏域の医療・介護連携について

- ・以前から連携しやすい環境だと感じています。(介護支援専門員)
- ・地域として距離・範囲が広い。(介護支援専門員)
- ・こういう会があるのは良いことだと思います。発展させていきましょう。(医師)
- ・往診、24時間対応できる医療体制が弱い。(看護師)
- ・圏域内に診療所が1つあるのみで医療機関が不足していると思います。今後も看護師さんや先生方と連携して利用者様が安心して生活できる様に支援していきたいと思います。(介護支援専門員)
- ・過疎化、地域の交流が少なくなっている。高齢化率が高い。交通事情。認知症の方々の受け入れが住み慣れた地域でという点では難しいと思います。(介護支援専門員)

## 問4.医療介護連携について知りたいこと、学びたい内容について

回答なし

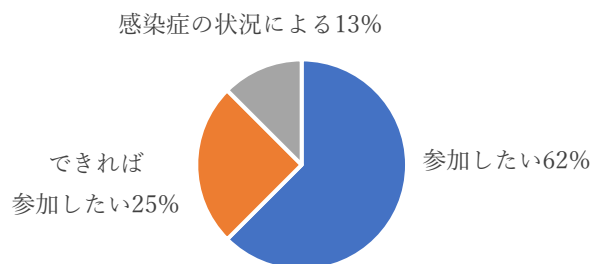
## 問5.Zoom 検討会について

5-1Zoom検討会参加方法

分かりやすかった100%



5-2今後のZoom検討会参加について



## 問6.その他、ご意見ご感想

- ・不慣れなりモート研修ですが丁寧な説明を受け、とてもわかりやすかったです。(介護支援専門員)
- ・やはり一堂に集まってが良いですね。でもこの形に慣れていくしかないのでしょうか。(医師)
- ・コロナ対策を考えるとZoom会議が大変良く時間短縮ですし、今後もお願いいたします。(看護師)
- ・意見が出しやすい雰囲気でしたので安心して話が出来ました。(介護支援専門員)

## 6 ディスカッション

### 司会（川本センター長）

今回の野津原圏域地域連携検討会のテーマは新型コロナウイルス感染拡大予防するためにすべきこととして「医療・介護事業所それぞれの対応と連携」とさせていただきました。発熱者や、新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者、感染流行地からの方との接触についてなど各医療機関、介護事業所での対応についての情報共有を行います。発熱者の対応情報が共有されることで在宅医療・介護サービス利用者の発熱時に個々の状況に応じたスムーズな対応の連携ができる体制を作る事を皆さんと一緒に話していきたいと思っております。

### ①皆さんが気をつけている事や分かっているもなかなかできてない、おこなっていることのアピールも含めてお話しください。

#### のつはる診療所

- ・発熱患者さんには来院前に電話を頂くようにしているが突然来院される患者さんもいます。激しい発熱の方が突然受診してくることはなかったが、パーテーションで区切られた場所を設定するように現在準備しているので、そちらでの対応となります。
- ・医療従事者は、防護服、N95 マスクを着用しての診察となります。PCR等の検査は現時点では診療所ではできませんので 必要があれば三愛メディカルセンターの発熱外来で PCR 検査等を受けていただくようになります。確実な診断は問診と通常の診察のみでは難しいので、高熱であれば紹介させていただくようにしたい。事前に電話頂いた場合には、ご家族等に協力いただいでできるだけ車で来院していただき、駐車場にて車の窓を開けて受診していただきます。
- ・ベストな対応が診療所では難しいですが、まずは来院いただき顔を見せていただきたい。患者さんや家族の、地域で受診したいというご希望に添えるよう受診しやすい体制を作っていくと考えています。感染者が徐々に増えてきているが、世の中の状況を見極めながら患者さんに安心して来院してもらえ体制を工夫していきたい。

#### のつはる診療所デイケアセンター

- ・基本の送迎時の体温チェック、消毒、手洗いの徹底、マスクの着用等を行っています。

#### 柴田歯科医院

- ・患者さんが密にならないように1時間に2~3人の予約にしていますが、時間を守ってもらえず一緒に来院され密になることが反省点としてあります。
- ・緊急事態宣言が出た当時は歯科医師会から仕事は休まず、入れ歯の作成など先送りできる治療は先送りにするように要請がありましたのでそれに従って診療しています。大分県の歯科医師の方で新型コロナウイルスに感染されている方はおられませんし、今のところうまくいっているかと思えます。野津原地区に感染者が出た場合には新たな対策を考えないといけないと思えます。野津原地域で感染するとしたら私が最初になると思えますので、覚悟してやるしかないと思っています。

#### 大分市介護保険サービスセンターさざんか野津原事業所

- ・基本的なところで手洗い、マスクの着用、机の前にパーテーションを設置しています。

#### 介護保険サービスセンター和泉荘

- ・マスクの着用、手洗い、職員の出社時と退社時に検温をして記録しています。
- ・入所施設への不要な訪問は避けるようにし、電話連絡で済むものは電話対応するようにして極力接触は避けるようにしています。

### グループホーム館

- ・次亜塩素酸での消毒、食事については1人1テーブルにしています。これについては以前から認知症の方なので人の物を取ったりするといったことがあったためですが、この対応は新型コロナウイルス感染予防に繋がっています。
- ・面会については県内のご家族は予防対策をし面会室で面会をして頂いています。ただし県外の方については予防をして窓越しでの面会となっています。同じ空間には一緒にしないよう部屋の外と中で面会をしていただいています。

### 野津原地域包括支援センター

- ・面談等も電話対応で問題ない方は直接会わずに電話対応としている。
- ・来所される方に関しては県外の方等には玄関に貼紙をして制限しています。来所された方は玄関先にシートをかけ飛沫対策をしています。

### わさだ訪問看護ステーション

- ・訪問看護は自粛するというよりもニーズが高くなってきているため、体調管理をしっかりと出来ないといけない状況にあります。職員の体調管理としては毎日の発熱チェック、患者さんに対しては、訪問日の朝に電話で風邪や発熱症状が無いか確認をして大丈夫であれば訪問をする、といった事を4月からおこなっていました。
- ・他県との接触や移動のある方については感染地域はもとより、移動について情報収集をしたものをリストにして感染リスクの有無を考えています。特に東京からの移動はよくありますのでリスクの高い地域の移動については1週間から2週間防御服を着て訪問に行き支援を行っています。
- ・発熱対応はアセスメントを行わなければ呼吸器感染なのか尿路感染なのか消化器症状なのか分からない場合もあります。熱が出たからといって訪問に行かないとは出来ませんのでアセスメントをしっかりと行っていますが、ガウンは着させてもらっています。
- ・吸い込むことが濃厚接触になるのでマスクはN95マスクを着用し、その上に普通のマスクをしてN95マスクが見えないように使っています。アイシールドやフェイスシールドも使用しており、吸引時等にはフェイスシールドを使用しています。
- ・最初の契約時にコロナチェックについては嚴重にお伝えしご理解して頂いており、利用者さんの方から県外からの移動がある事を伝えてもらっています。何名かPCR検査を受けた方もいましたが看護師同士で利用者さん宅に絶対ご迷惑かけないようスタッフ間で感染をしないなど特に気をつけています。

予防をしっかりとしても感染を完全には防ぐことはできず大分市でも感染者が増え、全国的に感染者数が多くなっています。皆さんもこれから先大分市での感染者の予測がつかないところだと思います。今後感染者が発生した場合について皆さんと一緒に考えることが今日のメインテーマとなります。

**②感染者や疑いのある方へ対応する場合のマニュアル等あればお話しください。**

### のつはる診療所

- ・どんな時でもお断りはせずに相談に来院いただき、少しでも怪しい場合には検査を受けていた

だくよう導くことをしていきたい。遠慮なく相談はしていきたい。

### のつはる診療所デイケアセンター

- ・リハの感染予防としては、リハビリ室でおこなっていたものを医療は2F、デイケアは1Fでリハビリをするようにして医療と介護が混ざらないように分けて予防しています。
- ・デイケアの方ではリハビリ会議を主催し会議室に他職種で集まっていたので職員間での感染リスクが高いため、なるべく会議はFAX対応で感染対策をとっています。今回各事業所がZoomを使えることが分かったので今後はリハビリ会議など患者さんのことに関することはZoomを活用して情報共有を行ったほうが患者のためになるかなと思いますのでこの機会に是非活用して情報共有できていければ良いと思います。
- ・三愛メディカルセンターからコロナ対策の情報更新があった時には全員で情報を共有するようにしています。

### 柴田歯科医院

- ・発熱された患者さんが受診されるようなことはない。昔はよく風邪で歯も痛いということが結構あり受診されていたが、今は発熱している方は自らだと思えますが受診されてないです。ただ歯が痛くて化膿して発熱する場合があります。それは風邪などではなく歯の炎症がひどいためなので、その場合は受診してもらわなければいけないと思っています。いい方法やアイデアがあったら教えて欲しい。

#### 司会（川本センター長）

- ・医療・介護サービスを利用されている方であれば専門職で状況を聞き取ることはできるが、患者さんだけの判断は難しいかと思えます。発熱していても事前に電話で相談をしてもらえると歯科受診の必要の判断がスムーズになりますか。

### 柴田歯科医院

- ・事前に電話を頂けるとありがたい。口の中が原因で発熱をしている場合には治療しないと熱は下がらない、風邪等の発熱の場合には熱が下がってからの治療となります。

### わさだ訪問看護ステーション

- ・8月に母体法人にて感染者が発生した時に訪問看護ステーションが併設型であったため全職員がPCR検査を受け1週間の自粛をしていました。120名の利用者さんがいますが全員自粛するわけにはいかないため、併設していないサテライトへのニーズが高くなりました。来てほしいというニーズを確認して医療を優先に訪問し、介護での訪問は自粛していました。職員のPCR検査の結果が陰性の確認が出来てから再開しました。利用者さんの意見を確認して再開しましたが、利用者さんとの信頼関係があったからこそ再開後もすぐに訪問に来てほしいと言われる方や、少し心配だから翌月から再開してほしいと言われる方がいました。病院の自粛期間を終えて救急外来が8月30日ぐらいから再稼働することにより通常の形に戻ったと思います。
- ・歯科の先生が話されていた発熱の事や、口腔ケアが上手くできないなどについては訪問診療して頂ける歯科の先生とのコラボで先生に感謝することが多いです。私たちに口腔ケアはできても治療が必要な場合には歯科医の訪問が必要のため訪問していただき、利用者さんと共にありがたいと思う連携がありました。

#### 司会（川本センター長）

- ・事前聞き取りにて新型コロナウイルス感染の可能性が高い場合には、装備をして訪問されるのか、その時点でPCR検査に繋ぐのかどちらになりますか？

### わさだ訪問看護ステーション

- ・コロナの疑いの方が1例ありましたが先生が防護服を着て検査キットを持って訪問し検査、濃厚接触した訪問看護師等は陰性が分かるまでは自宅待機。感染されてはいなかったため医療機関に入院していただきました。
- ・アセスメントで必要なのか、発熱の場合には風邪外来に行っていた方がいいのかという判断が必要だと思います。訪問看護師は単独で訪問を行うが個人で判断をせず管理者と考えスタッフ全員で情報共有するようにしている。

### 大分市介護保険サービスセンターさざんか野津原事業所

- ・事前に体調の確認を電話でおこなって訪問をしているが、利用者さんから訪問を断られる場合には電話で家族や本人に聞き取りを行っています。マニュアルは必要かなとは思っていますが、どこから取り組んでいいのか、難しいです。

### グループホーム館

- ・外部サービスを利用されている方がおられるが、有料老人ホームを併設しているので外部サービスからの感染が怖い。しかしサービス事業所の感染予防対策に一任するしかない。

### 野津原地域包括支援センター

- ・大分での感染が少なかった時期は少し油断していたように感じるが感染者が増えてきて利用者さんと直接的には関わらないようにするなど対応に気をつけたいと思っています。
- ・介護事業所は感染の可能性のある方を医療機関につなげる事が大切なかと思えます。

## ③野津原圏域内で皆さんが連携できることや、それぞれの立場でのお願い等、いろいろな課題を自由に話していただきたい

### のつはる診療所

- ・いろんな方が、いろんな形で第一発見者となることがあると思いますが、へたな接触をしてしまうと濃厚接触者となり、そこから感染拡大させてしまう可能性がある。感染が疑われる方の状況も個々によって違いますが「全てが万が一」なので電話での相談をしていただきたい。万全の態勢をとっていても全てをのつはる診療所で受け入れる事は難しいので、まずはご連絡をしていただき発熱外来との振り分けをさせていただきたいと思います。迷われたらご一報ということでお願いします。

### 柴田歯科医院

- ・今まで通り予防をしながらおこなっていくので、何か要望があれば言っていただきたい。

### わさだ訪問看護ステーション

- ・介護者、医療従事者は今年の3月からずっと気を付けて行動も自粛していますし、いろんな制限を受けて生活をしています。利用者の行動範囲はデイに行くとか自宅にいるぐらいなので感染するリスクは低いと思います。家族は他県や感染拡大している地域に行くなどされており、仕方のないこともあるかと思いますが家族には度々説明や指導をしています。家族の感染予防が一番気をつけていただきたいことだと思っています。患者さん自身から感染するのは大分県では低いのではないかと思います。甘いのですか？

司会（川本センター長）

- ・地域性もあると思いますが外出機会が限定されているため生活してる上での感染リスクは低いと思いますが、家族、県外の方の帰省、家族の旅行などもう少し予防に対しての意識を持っていただけるように私たちも伝えていくことが必要なかと思っています。

### 大分市介護保険サービスセンターさざんか野津原事業所

- ・基本中の基本ですが自分の健康管理がまず一番だと思っています。
- ・利用者さんに必要なコロナの情報などをわかりやすく伝えていくということ。
- ・コロナに対して気を緩めず常に意識を持つことも大事なかと思っています。
- ・ストレスが溜まるので自分や利用者さん周りの方のストレス解消ができるようなことも考えて病気にならないための対策をしていかないといけないと思っています。
- ・のつはる診療所がお受けしていただけるということでもとても安心できます、どうぞよろしくお願ひいたします

### 介護保険サービスセンター和泉荘

- ・今日の話聞いていて、ご利用者様だけでなくご家族の意識や行動も私たちが気にしていけないといけないのかなと思いました。

### 司会（川本センター長）

- ・利用者家族に対しての視点も大切なのかなと思います。また私たちも倒れないように自粛生活中でも気分転換できる楽しみを持ちながら、仕事へのモチベーションを維持していけるようにすることも大切だと思います。

### 野津原地域包括支援センター

- ・新型コロナに関する情報を日々入れていますが、国は経済を優先しているところがあるので感染を抑えるのは難しいと思う。介護職、医療職が踏ん張って行かないといけないかなと思っています。

### 長寿福祉課

- ・皆さんのそれぞれの立場での感染対策やこれからの連携についてお話を聞かせていただきました。野津原地区は先生方がすごく身近になんでも電話や相談をしてくださいということで心強く思っています。
- ・行政としては国や県の色々な通知や対策について皆様に随時発信をしていますが、それに則った活動をおこなっています。介護職、医療職の方が感染対策というところで徹底していただいて、長寿福祉課としては一般の高齢者のフレイル対策だとかそちらの普及啓発というところで皆様方にもいろいろと意見を伺いながら在宅医療・介護連携を図っていきたいと考えています。

### 司会(川本センター長)

新型コロナウイルス感染症に対して、これからも変わっていくことに、追いついていくことを皆さんでしていくしかない、その中で連携が外せない事や心強い仲間がいることを皆さん再認識されたのではないかと思います。今後、野津原地域で感染者発生時に事業所が閉鎖、営業停止となった場合に法人の連携だけではなく圏域内で包括的に連携して立ち向かっていく必要があるのではないかと思います。本日はありがとうございました。